

トーキョーワンダーサイト レジデンス 2015-2016 Part 2

Imaginary Synonym | イマジナリー・シノニム

2016年6月11日(土)～7月31日(日)

トーキョーワンダーサイト本郷

— 世界の街を舞台に滞在制作を行った、国内外のクリエイターたちによる成果発表展

トーキョーワンダーサイト(TWS)では、2006年よりレジデンス・プログラム「クリエイター・イン・レジデンス」を開始し、東京や海外の派遣先を舞台に、アート、映像、音楽、建築など様々なジャンルや国籍のクリエイターたちへ滞在制作の機会を提供しています。本シリーズでは4月から10月までの3会期を通して、レジデンス・プログラムの成果と、これからのアートセンターが担う役割を包括的に紹介していきます。

第2期となる本展では、2015年度にTWSレジデンスで滞在制作を行った3名のアジア出身クリエイターによる成果作品を展示します。

■ 展覧会概要

展覧会名：トーキョーワンダーサイト レジデンス 2015-2016 Part 2

イマジナリー・シノニム (英語タイトル: TWS Creator-in-Residence 2015-2016 Imaginary Synonym)

会期：2016年6月11日(土)～7月31日(日)

会場：トーキョーワンダーサイト本郷 (東京都文京区本郷2-4-16)

開館時間：11:00～19:00 (最終入場は30分前まで)

休館日：月曜日 (ただし7/18 (月・祝)は開館)、7/19 (火)

入場料：無料

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト

クリエイター：ケルヴィン・アトマディブラタ(インドネシア)、コビール・アフメッド・マスム・チステイー(バングラデシュ)、アディティア・ノヴァリ(インドネシア)

ウェブサイト：<http://www.tokyo-ws.org>

■ オープニング・トーク

日時：6月11日(土)15:00～17:00

参加クリエイター：ケルヴィン・アトマディブラタ、コビール・アフメッド・マスム・チステイー、アディティア・ノヴァリ

※日英逐次通訳あり。※参加クリエイターは変更となる場合がございます。予めご了承ください。

会場：トーキョーワンダーサイト本郷

<お問い合わせ >

〒135-0022 東京都江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内

公益財団法人東京都歴史文化財団トーキョーワンダーサイト 広報担当：市川、藤井

TEL: 03-5602-9881 / FAX: 03-5602-9882 E-mail: press@tokyo-ws.org

■ 展覧会について

本展でご紹介する3名のクリエイターは、2015年度の海外クリエイター招聘プログラムに参加し、TWSレジデンスで約3ヶ月の滞在制作を行いました。彼らが、東京の街や文化に触れ、様々なリサーチを通して独自の視点から日本、東京を表現した作品を発表します。**ケルヴィン・アトマディブラタ**は、身体と立体作品を組み合わせたインスタレーションを展示します。**コビール・アフメッド・マスム・チスティー**は、滞在中に保育園や地元の人たちとワークショップを行い、日本の妖怪や幽霊にまつわる話を集め、それをもとにアニメーションと人形劇を用いたアニメーションを制作しました。**アディティア・ノヴァリ**は、自身のルーツである中国とインドネシア、そして日本に共通する茶の文化をリサーチし、インスタレーションを展開します。展覧会初日には、レジデンス滞在の成果や作品についてのトークを行います。

■ クリエイタープロフィール

■ケルヴィン・アトマディブラタ | Kelvin Atmadibrata (2015年9月～11月滞在)

1988年生まれ。ジャカルタを拠点に活動。2012年シンガポール南洋理工大学スクール・オブ・アート・デザイン・メディア卒業。パフォーマンスを中心に、それに伴うドローイングやミクストメディアのコラージュ、インスタレーションを展開し、人間の身体、生と死、ジェンダーを詩的に表現する。今回の滞在では、日本のマンガの少年キャラや少年犯罪の心理をリサーチし、「必然」と「偶然」、「運命」や「死」をテーマに制作を行った。

主な活動に、「第7回マラッカ・アート・アンド・パフォーマンス・フェスティバル」(2015)参加、個展「Carbuncle」(SPACE Galeri Pasar, ジャカルタ, 2015)、「Vitamin C Kingdom: Weight of Living」(NCCA GALLERY, マニラ, 2015)、個展「たけくらべ」(国際交流基金ジャカルタ日本文化センター、ジャカルタ, 2014)など。

■コビール・アフメッド・マスム・チスティー | Kabir Ahmed Masum Chisty (2016年1月～3月滞在)

1976年生まれ。ダッカを拠点に活動。ダッカ大学大学院にて彫刻を学ぶ。大学院在学中に、5人の作家とともに、バングラデシュのアーティスト・ラン・スペースの先駆けとなった非営利組織「ブリット・アーツ・トラスト」を設立。現在、パフォーマンス、インスタレーション、アニメーション等の分野で作品を制作している。今回の滞在では、日本のお化け(妖怪・幽霊)についてリサーチし、保育園児と、地域の大人の方々それぞれワークショップを開催。それをもとに、人形劇、アニメーション、インスタレーションの形で作品を制作した。

主な展覧会に、ダッカ・アート・サミット 2016(バングラデシュ)、第5回福岡アジア美術トリエンナーレ 2014(福岡アジア美術館、福岡)、第54回ヴェネツィア・ビエンナーレ(バングラデシュ館、2011)など。

■アディティア・ノヴァリ | Aditya Novali (2016年1月～3月滞在)

1978年生まれ。スラカルタ(インドネシア)を拠点に活動。インドネシアの大学で建築を学んだ後、オランダのデザイン・アカデミー・アイトホーフェンにて修士号を取得。ジャワの伝統的な影絵芝居(ワヤン・クリ)の人形遣い、建築家、コンセプチュアルなプロダクト・デザイナーとしての経歴を併せ持つ。今回の滞在では、日本の茶道と煎茶に出会い、その文化や歴史について調査を行った。中国系のインドネシア人として、中国、インドネシア、日本の喫茶文化の考察を通して、「境界」「アイデンティティ」「国家」という概念に改めて問いを投げかける。

主な展覧会に、プルデンシャル・アイ・アワード 2016(アートサイエンスミュージアム、シンガポール、2016)、堂島リバービエンナーレ 2013(堂島リバーフォーラム、大阪、2013)など。

■ 広報用画像 ※この他にも広報用画像を用意しております。詳しくは広報担当までお問い合わせください。

1



ケルヴィン・アトマディブラタ
《Death Saves the Strawberry》2013-
パフォーマンス
Photo: Vincent Chow

2



ケルヴィン・アトマディブラタ
《the one that got away》2014
写真

3



コビール・アフメッド・マスム・チステイー
《Quandary》2011
アニメーション、ドローイング、インスタレーション

4



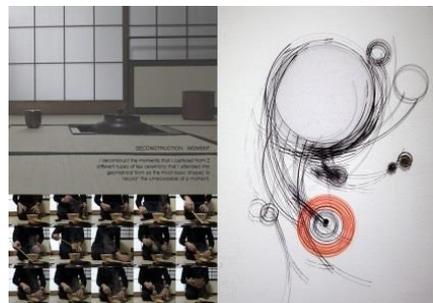
コビール・アフメッド・マスム・チステイー
《The Blindness that I Joy》2015
パフォーマンス
Photo: Rasel Chudhury

5



アディティア・ノヴァリ
《various remaking traditional Javanese tea packaging》2016
紙、茶葉

6



アディティア・ノヴァリ
《Deconstruction Moment : study of Sen-cha and Cha-no-yu
(tea ceremony)》2016
インク、ペイント、プレキシングラス

【次回予告】 トーキョーワンダーサイト レジデンス 2015-2016 Part 3 | 2016年8月20日(土)~10月2日(日)

Fax 番号: **03-5602-9882**

Email: **press@tokyo-ws.org**

トーキョーワンダーサイト広報担当宛

「トーキョーワンダーサイト レジデンス 2015-2016 Part 2 イマジナリー・シノニム」
広報用画像請求書

(ご希望の広報用画像番号にチェックを入れてください)

1 2 3 4 5 6

掲載媒体名(特集・コーナー名)

種別 TV ラジオ 新聞 フリーペーパー ネット媒体 携帯媒体 その他()

掲載/放送予定日 月 日 発売/放送(月号)

貴社名

ご担当者名

Tel

Fax

E-mail(画像はメールでお送りしますので必ずご記入ください)

画像到着希望日 月 日 時頃までに送付

※ご記入いただいた個人情報は、お問い合わせ及びご要望に対応させていただく目的のみ利用させていただきます。

【注意事項】

※画像データは申請時の目的以外での使用はできません。ご掲載や放送以外の目的での写真のご利用はご遠慮ください。また、申請時とは別の媒体での使用、再販等の場合は改めて申請し直してください。

※画像は、メールにてデータをお送りします。お手元に届くまでのお時間を1~2日ほど頂戴いたしますのでご了承ください。

※作品画像は全図でご使用いただき、トリミング、文字載せはお控えください。必ず所定のキャプション等を併記してください。

※提供した画像は、使用后速やかに破棄してください。画像が無断で第三者に利用されることのないよう、Web でのご掲載は、画像にコピーガードや転載不可の明記などを施してください。

※事前に記事原稿を拝見させていただきますよう、お願いします。

※取材の内容が収録された番組等はビデオ・DVD を一部、印刷物(掲載誌・雑誌)については現物を1部もしくはコピーの場合は3部ご送付ください。Web サイトの場合は、掲載時にお知らせください。

< お問い合わせ > ※校正ゲラ及び掲載誌紙・DVD 等は下記宛にお送りください。

〒135-0022 東京都江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内

公益財団法人東京都歴史文化財団トーキョーワンダーサイト 広報担当: 市川、藤井

TEL: 03-5602-9881 / FAX: 03-5602-9882 / E-mail: press@tokyo-ws.org